



ニューノーマル 時代における 外国語教育は どうあるべきか



講演者

當作靖彦 教授
(カリフォルニア大学サンディエゴ校)

日時

2020年12月5日 | 土 |
午後1時00分～午後2時30分

形式

オンライン【Zoom】ID: 992 4809 1373
※関大Webメールのアカウントでのみ参加可能です

定員

先着300名

新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、私たちの社会はまたたくまに大きく変化しました。感染症の収束の先行きが見えない中、この変化は定着し、ニューノーマル社会となりました。教育界では対面授業からオンライン授業に変わり、デジタルトランスフォーメーションが急激に進みました。オンライン授業を効果的に行うために対面授業の内容をそのままデジタル化するのではなく、授業の内容の変化も必要となりました。この過程の中で大学教育は必要か、大学教育は今のままでいいのかという疑問も出るようになりました。ニューノーマルという新しい社会に対応できる人間を作り出す教育が要求されるようになりました。歴史の中でこれまで何度もパンデミックが起ってきましたが、そのたびに、それまでのノーマルを断ち切り、新しいノーマルに対応するため、社会が大きく変わってきました。今回も社会が大きく変わりましたが、それに対応し、教育も変わる必要があります。この講演では、ニューノーマル社会への変化にあたり、外国語教育はどのように変わるべきかを考えてみます。